

地域版避難所運営マニュアルの作成に向けた取り組み

地域が主体となった避難所運営に向けて

恵庭市では、長期間の避難を余儀なくされるような大規模災害が発生した場合に、円滑な避難所運営や良好な生活環境を確保することを目的として、避難所運営の基本的な考え方や避難所組織のあり方、活動内容をまとめ、災害発生時の対応及び事前準備の参考としていただくため、「恵庭市避難所運営マニュアル」を作成しました（H29.3）。このマニュアルをもとに、関係町内会や施設管理者等と連携して各地域の避難所運営について平時から話し合い、それぞれの地域の特徴を踏まえた「地域版避難所運営マニュアル」の作成を進めていくことにより、一層の地域防災力の向上を目指しています。

- 《避難所運営の基本方針》
（「恵庭市避難所運営マニュアル」より）
- ◇ 地域住民による
自主運営が基本
* 第一義的な責務は市
 - ◇ 様々な立場の方に
配慮した避難所づくり

《地域版避難所運営マニュアル検討の進め方（例）》



MEMO：地域版運営マニュアルの広がり

H30年3月には、柏陽中学校をモデル校として、「柏陽中学校」における避難所運営マニュアルを作成致しました。

恵庭中学校（柏地区）での取り組み（平成30年度恵庭市防災学習会）

◇ 第1回防災学習会（H30.10.29）【避難所情報の共有】

地域版避難所運営マニュアルの作成に向けた第1回目の学習会では、講師の安田睦子氏（有限会社インタラクション研究所・北海道防災教育アドバイザー）に講演していただき、地域住民による避難所運営について理解を深めるとともに、学校の施設・備蓄品の確認を行いました。その後、参加者による意見交換を行い、学校施設の利用方法について話し合い、恵庭中学校避難所レイアウトを作成しました。発災直後やその後学校が再開した場合なども想定し、また、隣接する柏小学校の連携などの検討も行いました。



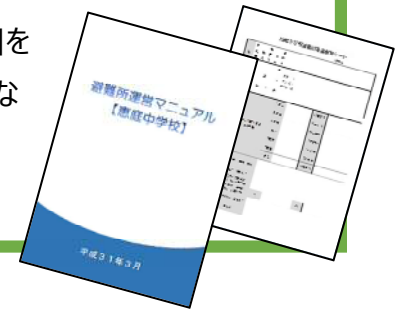
◇ 第2回防災学習会（H30.12.8）【避難所運営の課題整理】

第1回の学習会で作成した避難所レイアウトを用いて、「D o はぐ」による図上演習を行い、避難所運営の課題への対応について、意見を交わしました。



◇ 第3回防災学習会（H31.2.24）【避難所運営マニュアルの検討】

これまでの学習会の意見をもとに「恵庭中学校避難所運営マニュアル」を作成し、内容について検討を行うとともに、安田講師から今後の自主的な避難所運営に向けて、他市の事例などについて講演いただきました。



今後の取り組み

- 学校・地域・行政の連携のもと、防災学習や防災訓練を通じて、マニュアルの検証や見直しを行い、より円滑な避難所運営体制づくりを目指します。
- 地域版避難所運営マニュアルの作成については、学校区を基本として他地区に展開し、恵庭市全体の地域防災力の向上を目指します。

恵庭市ホームページ：<http://www.city.eniwa.hokkaido.jp>

トップページ > 救急・防災 > 防災・災害 > 恵庭市指定避難場所一覧 > 地域版避難所運営マニュアル作成に向けた取り組み